

## 令和2年度 学校評価自己評価表

学校教育目標

『夢に向かいチャレンジする津田小の子』

～自ら考え行動する子・自他を大切にすること・元気にチャレンジする子～

廿日市市立津田小学校

ミッション

「夢に向かい諦めずに夢を育む児童の育成」をするために知・徳・体のバランスのとれた児童を育成する

ビジョン

児童・教職員・保護者・地域が共に誇れる学校をめざす

評価計画				必要なアンケートの項目 チェックする時期と担当者など						
	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	担当	評価項目・指標・目標値	評価				
確かな学力(知)	・基礎、基本の力を身に付け、自ら学び、考え、表現する「確かな学力」を育む	◎基礎的・基本的な知識、技能の定着	・主体的な学びのある授業にすることを5つの授業改善に取り組む。 ①適切な課題発見や課題設定の工夫（導入・発問） ②学び合いの授業展開の工夫 ③対象児童の実態把握・手立ての充実 ④適用問題の活用・ノート指導の充実 ⑤ICT機器の積極的な活用	教務部	①児童に確かな学力をつけている。 【市共通項目】廿日市学力定着状況調査(4年)の国、算、(理)の問題で60%以上正答した児童の割合 ②全学年算数の学期末テストの問題で、平均正答率70%以上の児童の割合	80%以上 A 70～79% B 60～69% C 60%未満 D	・「全国学力・学習状況調査」調査結果（今年度中止のため実施しない） ・算数学期末テスト結果（7月、12月）			
		◎家庭学習に自ら取り組む児童の育成	・家庭学習ステップアップ週間を学期に1回実施し、家庭での過ごし方を意識させ、保護者にも協力を得る。 ・「自学のススメ」をもとに学習の仕方を指導し、自分で取り組む課題を週1回以上行わせる。 ・家庭学習の目標学習時間を1～4年生は「10分×学年+10分」、5～6年生は「60分」と設定し、児童に意識させて取り組ませる。 ・既習事項がランダムに盛り込まれた家庭学習を行わせる。		・児童が自ら進んで家庭学習に取り組む姿勢が身についている。 ・家庭学習の時間調査結果（各学年の設定目標時間のアンケート結果）	80%以上 A 70～79% B 60～69% C 60%未満 D		・児童アンケート「家庭学習を学年の目標時間以上勉強していますか。」 ・保護者アンケート「子どもは学校があった日、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。」 ・家庭学習ステップアップ週間における目標学習時間の達成率		
		★自他の良さを認め合う、自己肯定感・自己有用感の育成	◎マナーや規範意識の育成		・帰りの会で週に3回は「いいことみつけ」を行い「今週の1枚」を放送・掲示する。学級全員が認められる機会をもてるように、席替え後に「ありがとうメッセージ」を贈るなど学級実態に合わせた取組をする。 ・アセスによる学級全体と個人の傾向を把握し、取組に役立てる。 ・面談週間を取組むことで、一人一人の児童と丁寧な話をしたり聞いたりする時間をもつ。	生徒指導部		・命を大切に、自他を認めはじめを許さない、いじめをしない学校・学級集団になっている。 ・児童の肯定的評価（級友関係、自己存在感関係項目）	90%以上 A 80～89% B 70～79% C 70%未満 D	・児童アンケート「友達を大切にしている」「学級のみんなから認められている」「津田小学校はいじめのない学校になっている」
					・「津田小ガイドブック-佐伯っ子ノート」を活用した共通指導。 ・学期末に学校の決まりが守れているか自分を振り返らせる。（廊下を走らない、履物をそろえるなどの決まりを守る。） ・「あいさつ運動」の取組を継続して行う。 ・毎日縦割り班掃除にすることで掃除の仕方がより徹底するようにする。高学年にリーダーとしての自覚をもたせる。 ・自問清掃が徹底するように自問タイムを設け、確実に実行させる。			・「津田小ガイドブック-佐伯っ子ノート」にあるマナーや規範意識を守ろうとしている。 ・児童の肯定的評価（「津田小ガイドブック-佐伯っ子ノート」に書いてあることを守ろうとしている。） ・児童・保護者・教職員の肯定的評価（あいさつ・そうじ関係項目）	90%以上 A 80～89% B 70～79% C 70%未満 D	
健やかな体(体)	・健康への意識や体力を高め「健やかな体」を育む	◎活力ある生活の基盤となる体力や運動能力の育成	・体育の時間にハンドグリップを使った運動や跳躍力を伸ばす運動を取り入れたサーキットを継続的に取り入れる。 ・朝トレ（毎週金曜日）で跳躍力と握力を付ける運動に取り組む。 ・朝トレや掲示物および配布物を通して、いろいろな外遊びを紹介し、推奨する。	健康安全部	・自ら進んで体力づくりに取り組み、体力や運動能力が向上している。 ・体力づくりの取組の達成目標の到達度。跳躍力・握力における県平均以上の学級の割合（男女別）	8/12以上 A 6/12 7/12 B 4/12 5/12 C 3/12以下 D	・跳躍力と握力の体力測定を実施後、集計・評価する。 ・課題のあった項目について再テスト週間を（2月上旬）を設定し、伸びを評価する。			
		◎健康に対する意識を高め、歯科保健の実践を通じた子どもの口腔環境の改善	・歯科受診の推奨（受診勧告を検診後と11月の2回配付） ・歯みがきカレンダーの取組 ・歯みがき指導（学級ごとに年1回実施、学級活動・自立の時間）		・家庭の協力を得て、積極的に歯みがきをする児童の姿が見られる。 ・1日3回の歯みがきができる児童が75%以上（歯みがきカレンダー）	75%以上 A 65～74% B 55～64% C 55%未満 D		・歯みがきカレンダーの結果から評価する（年2回）。		
		◎健康で生き生きとやりがいのある職場の創造	・働き方改革に取り組むとともに、協働する職場作りをめざす。		・定時退校日を週1回設定する。 ・教職員の働き方に対する意識の醸成。 ・見直しにより業務改善の推進。 ・学校教育目標の具現化に向かって「チーム津田」として一丸となって取り組む。	校内衛生委員会		①時間外勤務時間が月平均4.5時間を超える教職員の割合 ②長時間勤務の縮減により教職員一人一人が健康で生き生きとやりがいを持って勤務している。	① 80%以上 ② 90%以上 A 60～79% 70～89% B 40～59% 50～69% C 40%未満 50%未満 D	・毎月始めに入退校時刻記録で時間外勤務の割合を確認する。 ・教職員アンケート「生き生きとやりがいをもって勤務している。」 ・教職員アンケート「『チーム津田』として一丸となって教育活動に取り組んでいる。」

◎重点項目

★小中学校共通項目